

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野名	施設	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	12月		1月				2月			3月			4月			5月			6月			7月以降	備考								
				17	24	31	7	14	21	28	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下							
汚染水対策分野	●プロセス主建屋 (PMB)、高温焼却建屋 (HTI) の滞留水処理	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																												(継続運転)	
			【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																												(2024年度 工事完了予定)	設計進捗を踏まえ、工程見直し検討中
			【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	設計検討																												(2024年度 設計完了予定)	
			【滞留水一時貯留設備設計】	設計・検討	詳細設計・工事																												(2024年度 工事完了予定)	設計進捗を踏まえ、工程見直し検討中 建屋滞留水一時貯留設備の設置に係る実施計画変更 (2023年7月6日申請)
			【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土壌の検討】	容器封入 集積作業	容器封入作業 詳細設計・工事 集積作業 詳細設計・工事																												(2024年度以降 容器封入作業着手予定) (2023年度内 集積作業着手予定)	設計進捗を踏まえ、工程見直し検討中 容器封入作業 実規模モックアップ (2023年9月~) 容器封入作業 実施計画変更 (2023年3月31日申請) 集積作業 実規模モックアップ (2022年10月~) 集積作業 (2023年度内~)
	●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内) ●汚染水発生量を50~70m3/日程度に抑制(2028年度末)	浄化設備	【仮設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																												(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2022年4月28日認可) 他工事における身体汚染発生に伴う作業中断を踏まえ、使用前検査工程見直し中 (運用開始時期は、使用前検査時期を踏まえ見直し予定)
			【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																												(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015年9月3日~) 排水開始 (2015年9月14日~) 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始 (2022年3月~)
			【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業	運転																												(継続運転)	
			【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																												(継続運転)	
			【RO-3】 【建屋内RO 精理設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業	運転																												(継続運転)	淡水化装置 (RO-1、RO-2) 撤去 2023年5月23日：工事開始 (2024年3月竣工：工事完了予定) 建屋内RO処理水移送配管の造設に係る実施計画変更 (2023年11月24日認可) 2024年3月運用開始予定
	陸側遮水壁	(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全壊展開完了	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																												(継続運転)		
	フェーシング (陸側遮水壁内エリア)	【凍土壁内フェーシング (全6万m ²)】 ・3号機建屋西側	現場作業	3号機建屋西側																													3号機建屋西側：2024年2月完了予定	
	1-4号機建屋周辺トレンチ調査	(実績・予定) ・12箇所の調査実施 (2023)	現場作業	(2024年1月調査完了)																													2024年1月完了 (実績を反映)	
	5号機建屋間ギャップ 側部止水対策	(実績・予定) ・建屋間ギャップ側部止水：4箇所	現場作業																														削孔開始：2023年5月22日 2024年2月完了予定 (天候、試験結果により工程は見直し可能性がある)	

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	12月				1月				2月				3月				4月				5月				6月				7月以降	備考
				17	24	31		7	14	21	28	上	中	下		上	中	下		上	中	下		上	中	下		上	中	下			
汚染水対策分野	●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	モニタリング																												(継続実施)	
		タンク解体	(予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事：49基解体予定(2023年度中) ・Eエリアフランジタンク(D1)内の残水回収(スラッジ含む) (実績) 解体基数 47基/49基	Eエリアフランジタンク解体工事																												(タンク解体完了)*	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について(実施計画変更認可) D1 2タンク解体完了：2023年2月 D2タンク内の残水回収：2022年6月完了 D2タンク 1月23日よりレーザー除染開始予定
	●自然災害対策	津波対策	○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防潮堤設置(実績・予定) 斜面補強構築工事 本体構築工事 ○サブドレン集水設備高台機能移転(実績・予定) ろ過水タンク西側整備工事実施(完了) 地盤改良(完了) 集水設備設置(10基)	斜面補強・本体構築工事																												(2024年3月工事完了予定)	2024年3月完了予定 現場着手：2021年6月21日開始 斜面補強部：2021年9月14日作業開始 防潮堤本体部：2022年2月15日作業開始
				ろ過水タンク西側整備(ろ過水配管ルート工事完了)、地盤改良工事(地盤改良完了)、集水設備設置(10基)5月~着手																												(2024年度初旬工事完了予定)	集水設備設置 10基(5月~着手) 2024年4月~タンク設置作業再開予定 工事実施中 SD-7、SD-10、SD-8、SD-9、SD-4、SD-1 側板組立・溶接済み、天蓋設置済み 2023年10月20日 サブドレン集水設備及び地下水ドレン設備の津波対策に伴うTP33.5m層への移設について(実施計画変更申請)

2024 2 2 2024 2 29

2024 2 16

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
A				←																										
B																														
C																←				←				←						

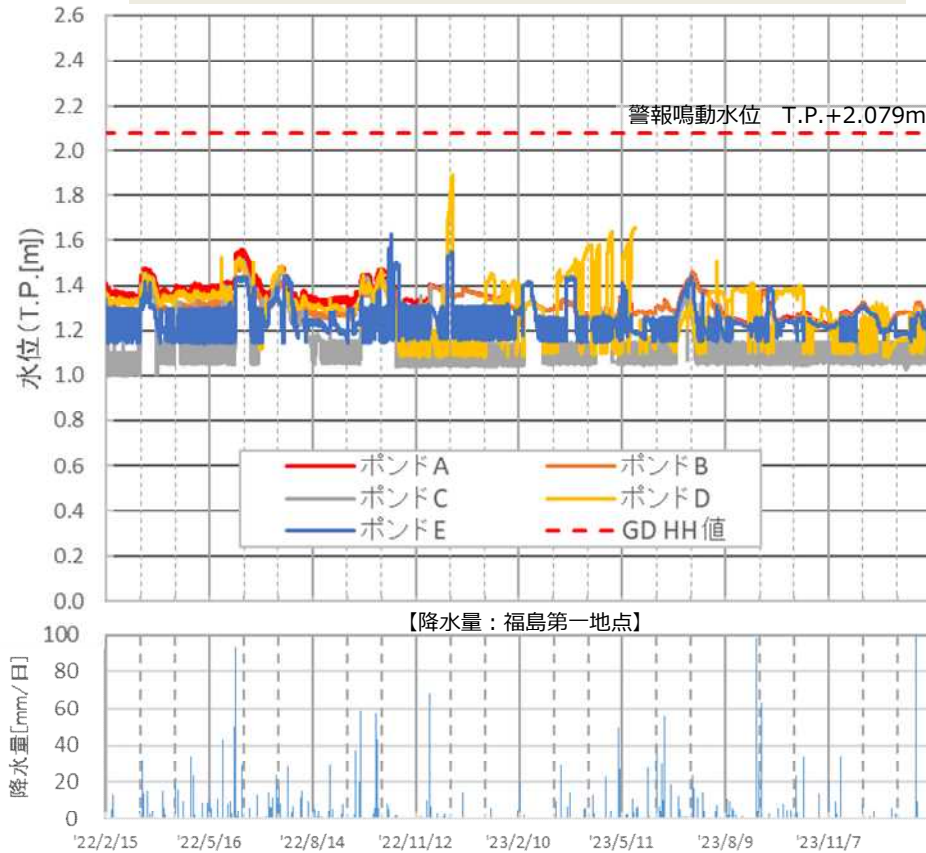
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
A																												
B																												
C																												

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
A																												

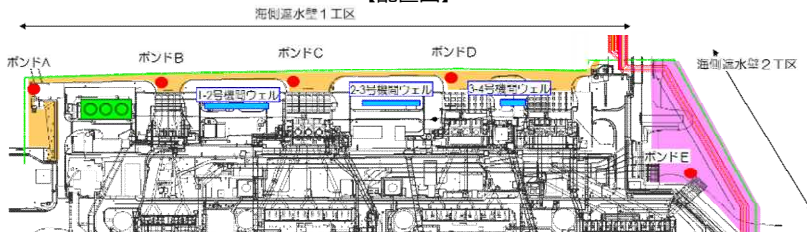
	(KURION)							(SARRY)							SARRY2													
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
SARRY	←																											
SARRY												←		←				←										
KURION																												

【地下水ドレンポンド水位】

ポンドDの改良工事に伴う停止 '22.7/4~7/8
 ポンドCの改良工事に伴う停止 '22.6/27~7/1, '22.9/26~'22.9/30
 ポンドEの改良工事に伴う停止 '22.2/7~2/11, '22.8/1~8/5



【配置図】



■ 地下水ドレン集水タンク及びT/B移送量 (左表)、
 ウェルポイントT/B移送量 (右表) [m³/日]

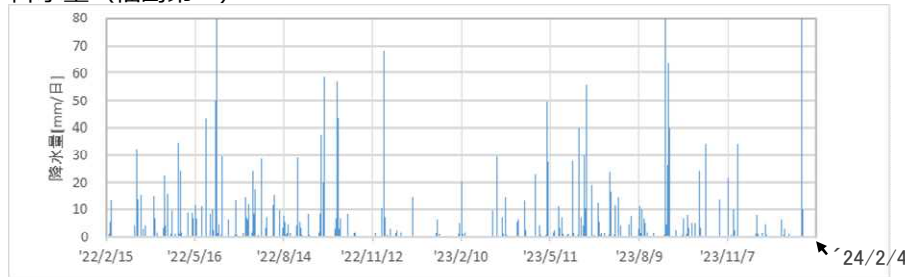
前日0:00より24時間

地下水ドレン 移送先	中継タンクA		中継タンクB		中継タンクC		集水タンク移送量合計	T/B移送量合計	移送量合計*	ウェルポイント			
	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B				#1-2間	#2-3間	#3-4間	合計*
1/8	0	0	2	0	24	0	26	0	26	4	0	0	4
1/9	0	0	0	0	26	0	26	0	26	7	0	0	7
1/10	0	0	1	0	26	0	27	0	27	4	0	0	4
1/11	0	0	0	0	24	0	24	0	24	7	0	0	7
1/12	0	0	21	0	26	0	47	0	47	7	0	0	7
1/13	0	0	0	0	24	0	24	0	24	7	0	0	7
1/14	0	0	1	0	25	0	26	0	26	4	0	0	4
1/15	0	0	0	0	26	0	26	0	26	4	0	0	4
1/16	0	0	31	0	24	0	55	0	55	4	0	0	4
1/17	0	0	72	0	22	0	94	0	94	9	0	0	9
1/18	0	0	70	0	2	0	72	0	72	5	0	0	5
1/19	0	0	68	0	0	0	68	0	68	7	0	0	7
1/20	0	0	68	0	0	0	68	0	68	4	0	0	4
1/21	0	0	67	0	6	0	73	0	73	4	0	0	4
1/22	0	0	69	0	21	0	90	0	90	4	0	0	4
1/23	0	0	86	0	20	0	106	0	106	12	0	0	12
1/24	0	0	87	0	20	0	107	0	107	8	0	0	8
1/25	0	0	95	0	21	0	116	0	116	7	0	0	7
1/26	0	0	103	0	18	0	121	0	121	7	0	0	7
1/27	0	0	102	0	21	0	123	0	123	7	0	0	7
1/28	0	0	102	0	19	0	121	0	121	7	0	0	7
1/29	0	0	67	0	19	0	86	0	86	8	0	0	8
1/30	0	0	7	0	47	0	54	0	54	7	0	0	7
1/31	0	0	0	0	63	0	63	0	63	7	0	0	7
2/1	0	1	0	0	62	0	62	1	63	7	0	0	7
2/2	0	0	0	0	62	0	62	0	62	7	0	0	7
2/3	0	0	0	0	30	0	30	0	30	7	0	0	7
2/4	0	0	0	0	11	0	11	0	11	4	0	0	4
平均	0	0	48	0	24	0	72	0	72	6	0	0	6

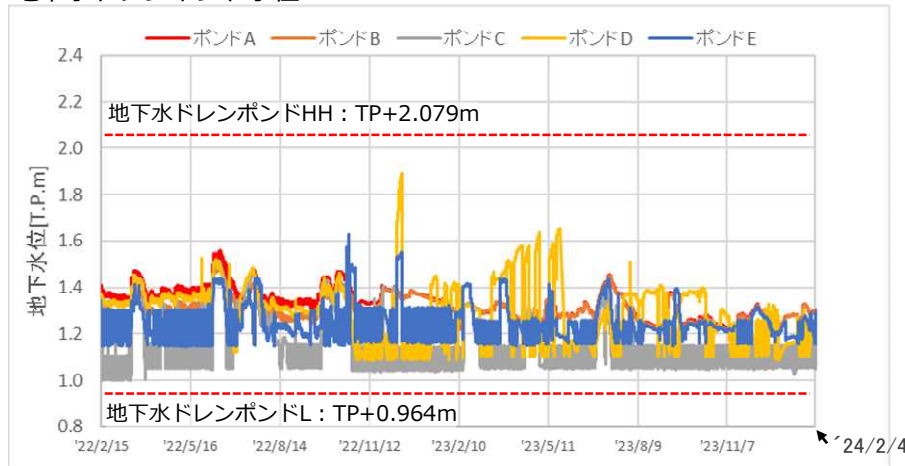
※合計値は小数点第一位のデータを合計しているため、個々のデータを合計した数値と合計値に差異がある場合がある。

地下水ドレン稼働状況および水位変化状況

降水量 (福島第一)

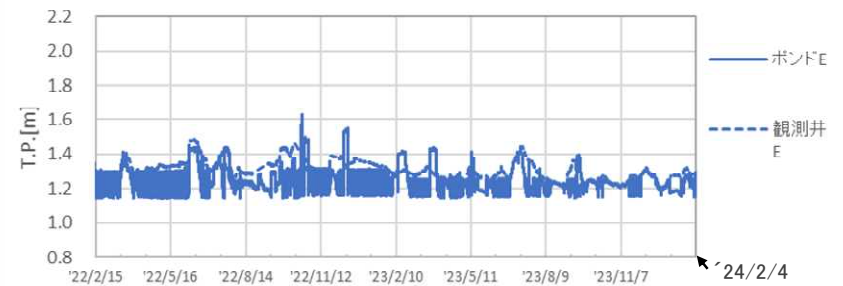
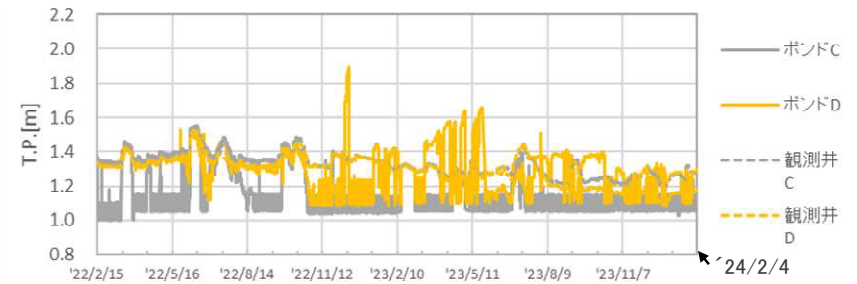
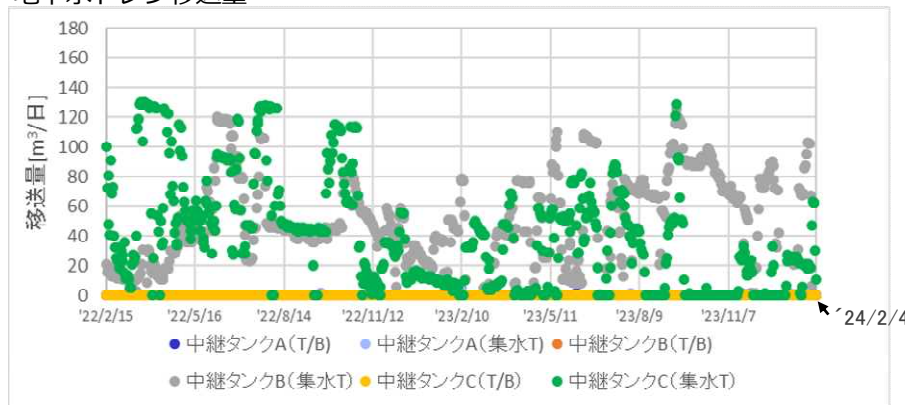


地下水ドレンポンド水位



※記載グラフについて、水位計点検時の水位データは除く。

地下水ドレン移送量



- 通常時はポンドC～Dを稼働し、ポンドCの設定水位を一番低くして、H3の拡散抑制を継続。
- 集水タンクのH-3,Sr濃度上昇抑制のため、サブドレンの稼働状況を踏まえて、各ポンドの設定水位の変更及び流量調整等を都度、実施。
- また、観測井水位と降雨予報も踏まえ、適宜、ポンドの稼働や観測井からの揚水を実施。
- 現時点における設定水位及び稼働状況

	H値	L値
ポンドA	T.P.1200mm	～ 1000mm
ポンドB	T.P.1200mm	～ 1000mm
ポンドC	T.P.1150mm	～ 1050mm
ポンドD	T.P.1250mm	～ 1100mm
ポンドE	T.P.1250mm	～ 1150mm

【稼働状況】
 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
 稼働中 (流量調整を適宜実施)
 稼働中 (流量調整を適宜実施)
 稼働中 (流量調整を適宜実施)

◆ 中継タンク

- セシウム137 ; 中継タンクBは、5~10Bq/L程度、あるいは検出限界値 (ND) で推移。
中継タンクCは、30~90Bq/L程度で推移。
- 全β ; 中継タンクBは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、500Bq/L程度で推移。
- トリチウム ; 中継タンクBは、500~1,500Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、300Bq/L程度で推移。

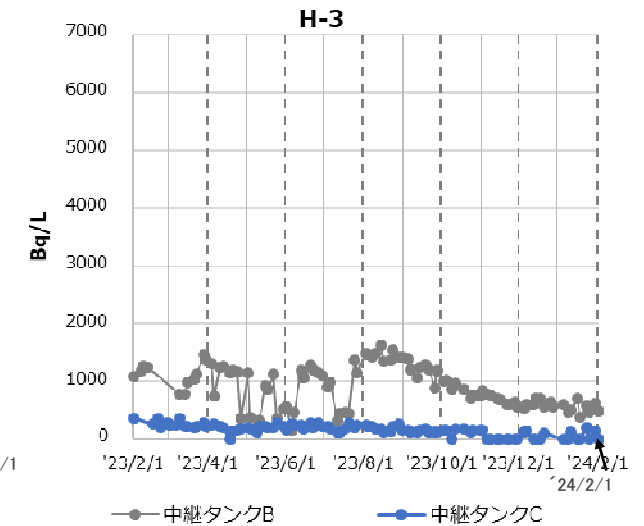
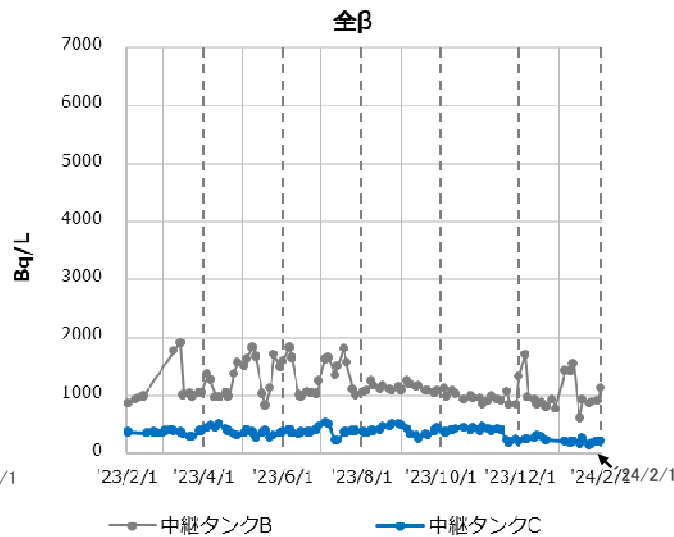
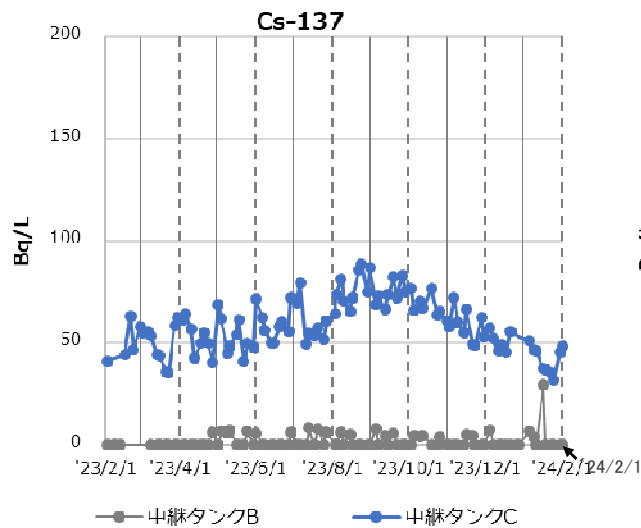
(記載データ採取日)

中継タンクA ; 2017/12/8*

中継タンクB,C ; 2024/2/1 (単位) Bq/L

中継タンク	セシウム137	全β	トリチウム
A	0	0	0
B	<4.2	1100	500
C	48	200	<130

※ ポンドA非稼働のため
2017/12/8以降サンプリング休止



<参考> 地下水ドレン汲み上げ水の水質（ポンド別）

◆ ポンド

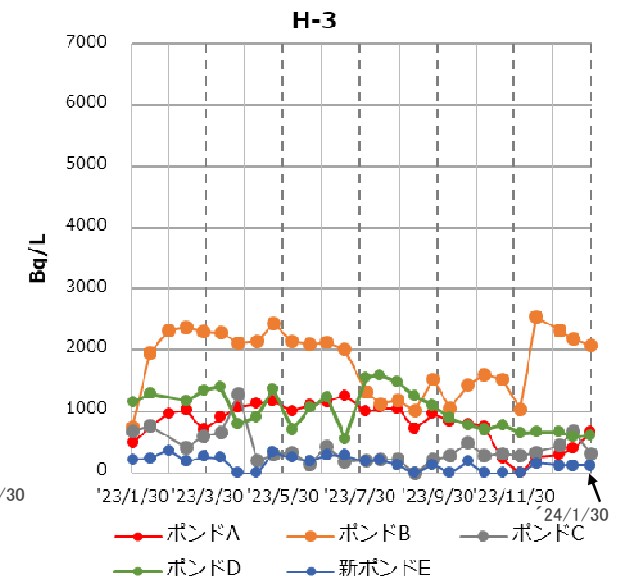
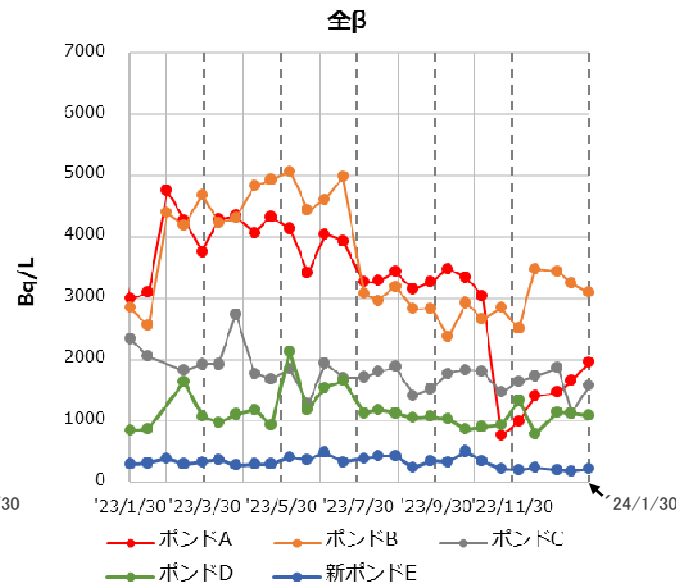
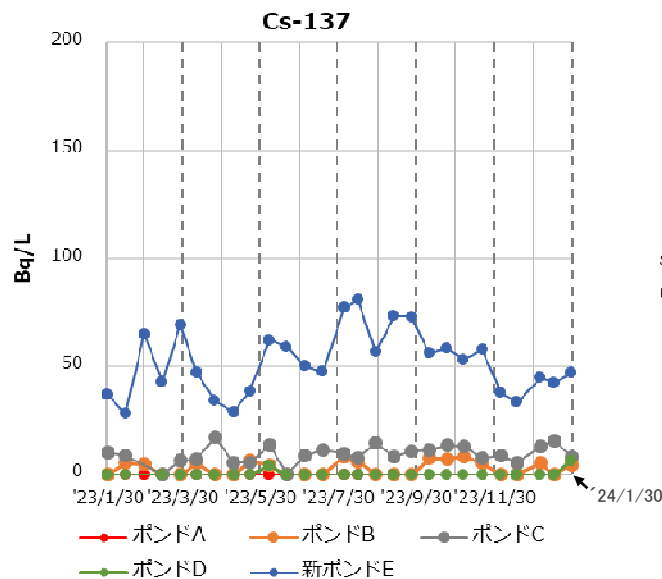
- セシウム137 ; ポンドA,B,C,Dは、10~20Bq/L程度で推移。
ポンドEは、25~75Bq/L程度で推移。
- 全β ; ポンドAは、1,000~5,000Bq/L程度で推移。2023年11月から1,000Bq/L程度に減少した後、上昇傾向にある。
ポンドBは、3,000~5,000Bq/L程度で推移。
ポンドC,Dは、1,000~2,500Bq/L程度で推移。
ポンドEは、500Bq/L程度で推移。
- H-3 ; ポンドAは、500~1,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、1,000~2,500Bq/L程度で推移。
ポンドCは、500Bq/L程度で推移。
ポンドDは、500~1,500Bq/L程度で推移。
ポンドEは、300Bq/L程度で推移。

(記載データ採取日)

2024/1/30

(単位) Bq/L

ポンド	セシウム137	全β	H-3
A	<4.6	2000	660
B	4.4	3100	2100
C	7.9	1600	320
D	6	1100	600
E	47	230	120



サブドレン稼働状況について

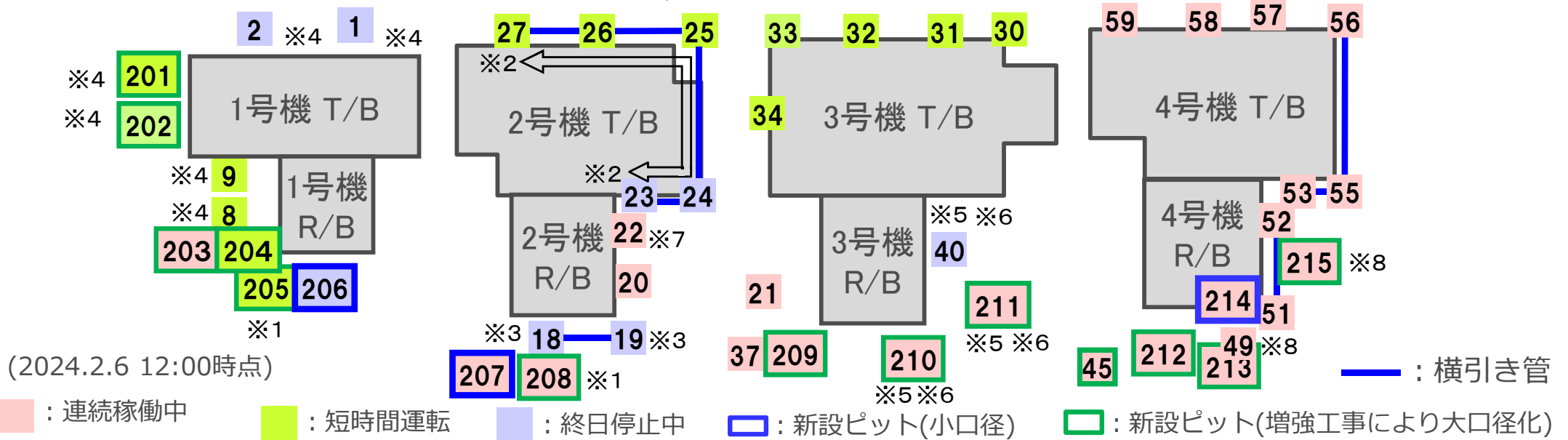
2024年2月16日

東京電力ホールディングス株式会社

サブドレン稼働概要

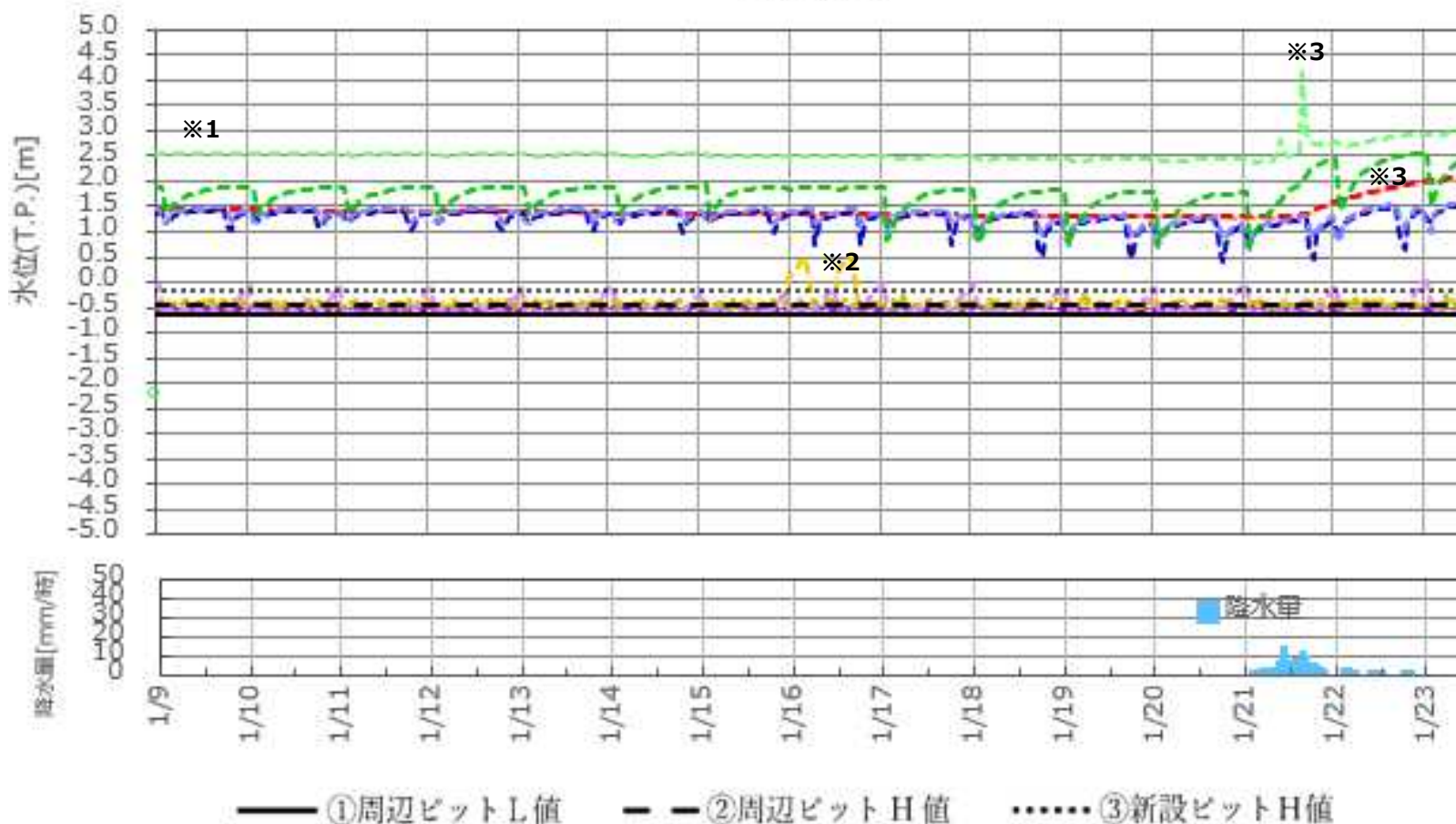
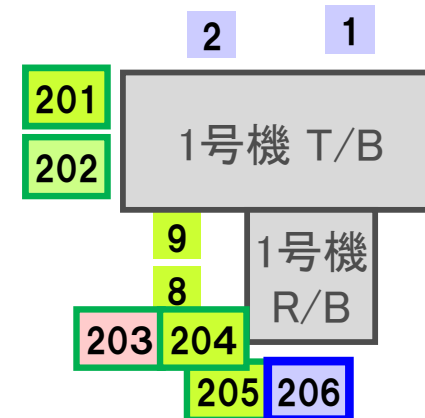
対象ピット	期間	設定値(m)		
		L値	H値(大口徑)	H値(小口径)
周辺	2020/2/7~	T.P.-0.15	T.P.0.05	T.P.0.350
	2020/2/18~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	T.P.0.150
	2020/11/12~	T.P.-0.45	T.P.-0.25	T.P.0.050
	2020/11/24~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	T.P.-0.050
	2021/5/13~	T.P.-0.65	T.P.-0.45	T.P.-0.150
No.205,No.208 ※1	2021/5/13~	T.P.-0.20	T.P.0.00	-
No.23~27 ※2	2020/2/18~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	-
No.18 ※3	2020/8/7~	T.P.0.50	T.P.0.70	-
No.19 ※3		T.P.0.70	T.P.0.90	-
No.1,2,8,9,201,202 ※4		T.P.-0.55	T.P.-0.35	-
No.40 ※5,6	2020/11/24~	T.P.1.50	T.P.1.70	-
No.210,211 ※5,6	2021/9/13~	T.P.2.00	T.P.2.20	-
No.40 ※5,6		T.P.1.00	T.P.1.20	-
No.210,211 ※5,6	2021/9/21~	T.P.1.50	T.P.1.70	-
	2022/3/10~	T.P.1.40	T.P.1.60	-
	2022/10/3~	T.P.1.10	T.P.1.30	-
	2023/12/12~	T.P.1.00	T.P.1.20	-
	2023/12/26~	T.P.0.90	T.P.1.10	-
No.22 ※7	2023/5/23~	T.P.0.30	T.P.0.50	-
No.49,215 ※8	2023/6/8~	T.P.-0.20	T.P.0.00	-

- ※1 トリチウム濃度の高い地下水の汲上を抑制するために、No.206,207ピットより水位設定値を高く設定している。
- ※2 No.23~27については、2020/2/18~の設定値に据え置き。理由は、ポンプ停止時の水位上昇が遅いため、大雨の際の建屋水位上昇に備えて設定値を下げないこととした。
- ※3 No.18,19については、溢水防止を目的とした連続運転を続けられるようにするため、水位設定値を高くしてトリチウム濃度を抑制している。
- ※4 No.1,2,8,9,201,202については、2020/11/24~の設定値に据え置き。理由は、※2と同様。
- ※5 No.40はピット内への油の引込みを防止するため水位を高くし、No.210,211は古い連結管を通してNo.40からの油の引込みを防ぐため、より高く設定している。
- ※6 2022/4/21に確認された3号機起動変圧器からの油漏れ事象により、No.40,210,211ピットを停止中。
- ※7 トリチウム濃度生じることなく連続運転を行うことにより、大雨時の水位上昇による建屋への流入量増加を防ぐために、水位設定値を高めた。
- ※8 No.5中継タンクにおける鉄酸化細菌の増殖抑制のため、鉄分濃度の高いNo49,215の汲上量を減らすために、水位設定値を高めた。



至近の水位変動 (1号機)

	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止	※3	----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	※3
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	停止	※1、※3
----- 201(N1)	短時間運転	※2	○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				



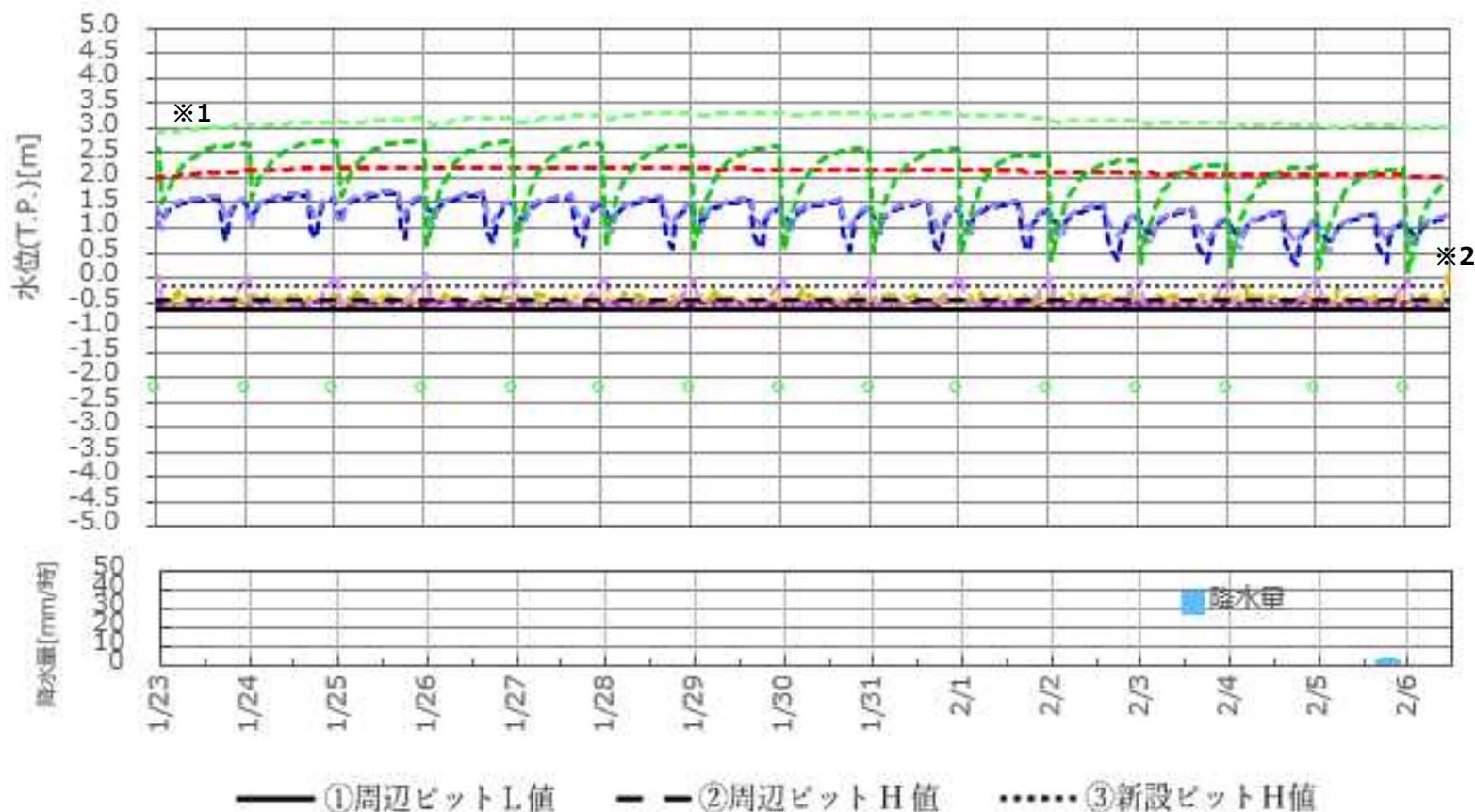
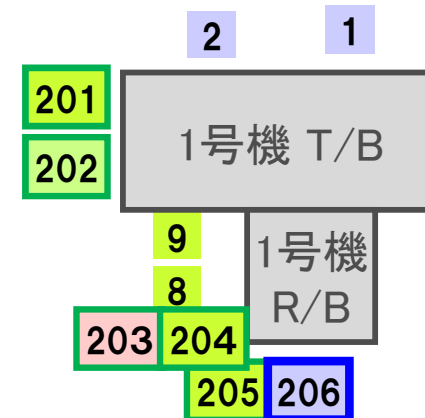
※1
No.206ピットは、11/8のポンプ交換後の確認運転の際に、移送配管にズレが発生していることが分かったため、11/8以降運転を停止。

※2
No.201ピットはファインバブル性能確認作業に伴う運転停止のため水位が上昇

※3
降雨の影響による水位上昇 (No.2,205,206)

至近の水位変動 (1号機)

	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	停止	※1
----- 201(N1)	短時間運転	※2	○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				

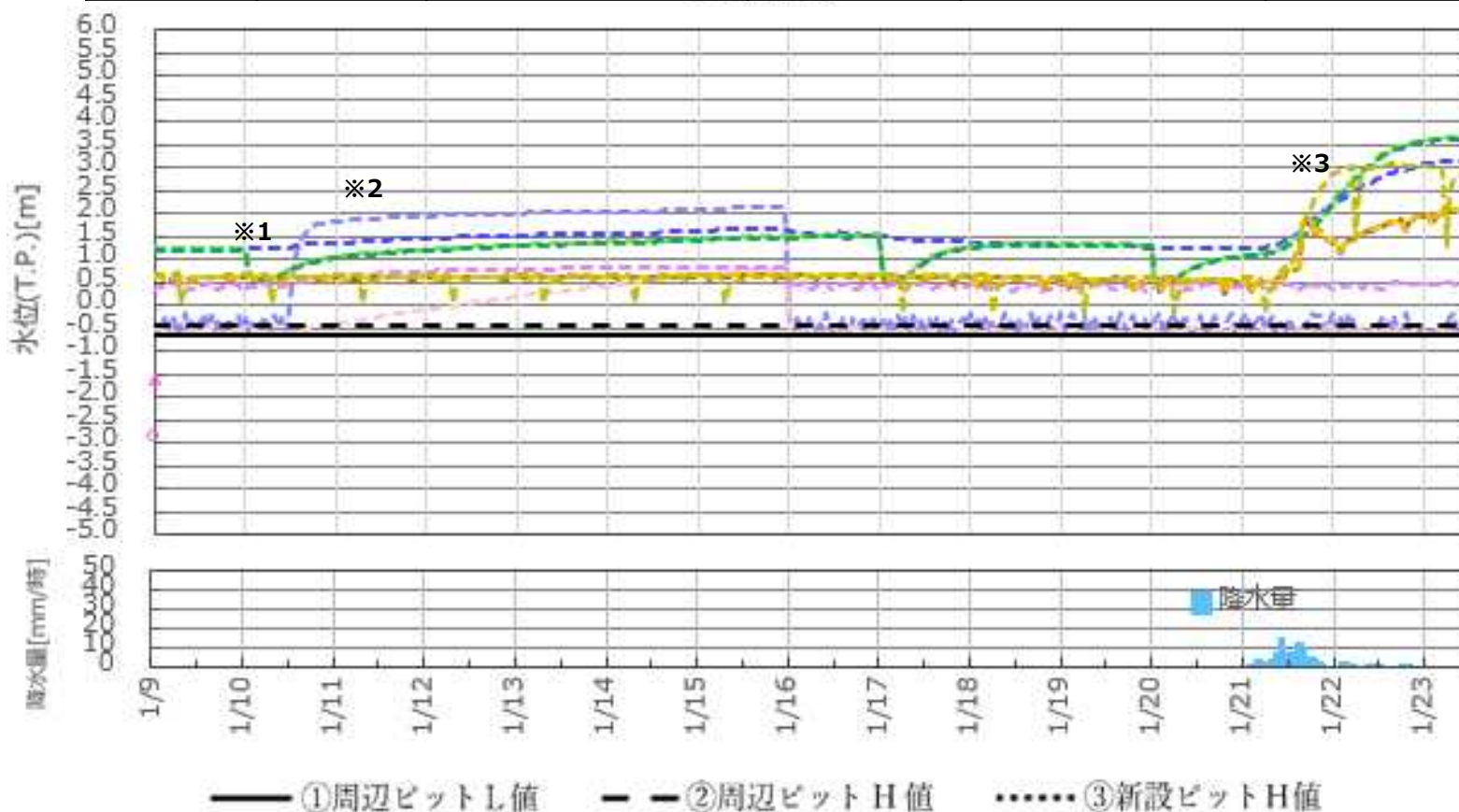
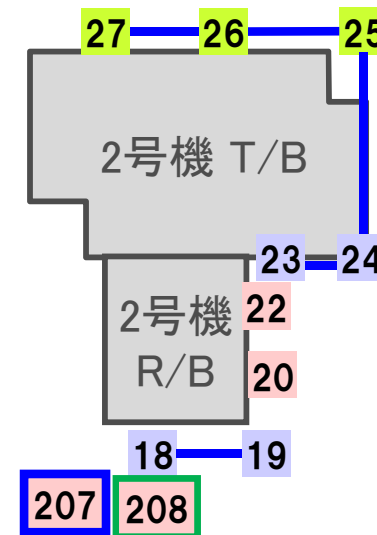


※1
No.206ピットは、11/8のポンプ交換後の確認運転の際に、移送配管にズレが発生していることが分かったため、11/8以降運転を停止。

※2
No.201ピットはファインバブル性能確認作業に伴う運転停止のため水位が上昇 (2/6)

至近の水位変動 (2号機)

	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転	※2	----- 22	連続運転	※2
----- 208(N8)	連続運転	※1、※2、※3	----- 23	停止	
----- 18	停止	※2、※3	----- 24	停止	※3
----- 19	停止	※3	----- 25	短時間運転	※3
----- 20	連続運転	※2	----- 26	短時間運転	※3
			----- 27	短時間運転	※3
△ #2 T/B			○ #2 R/B		



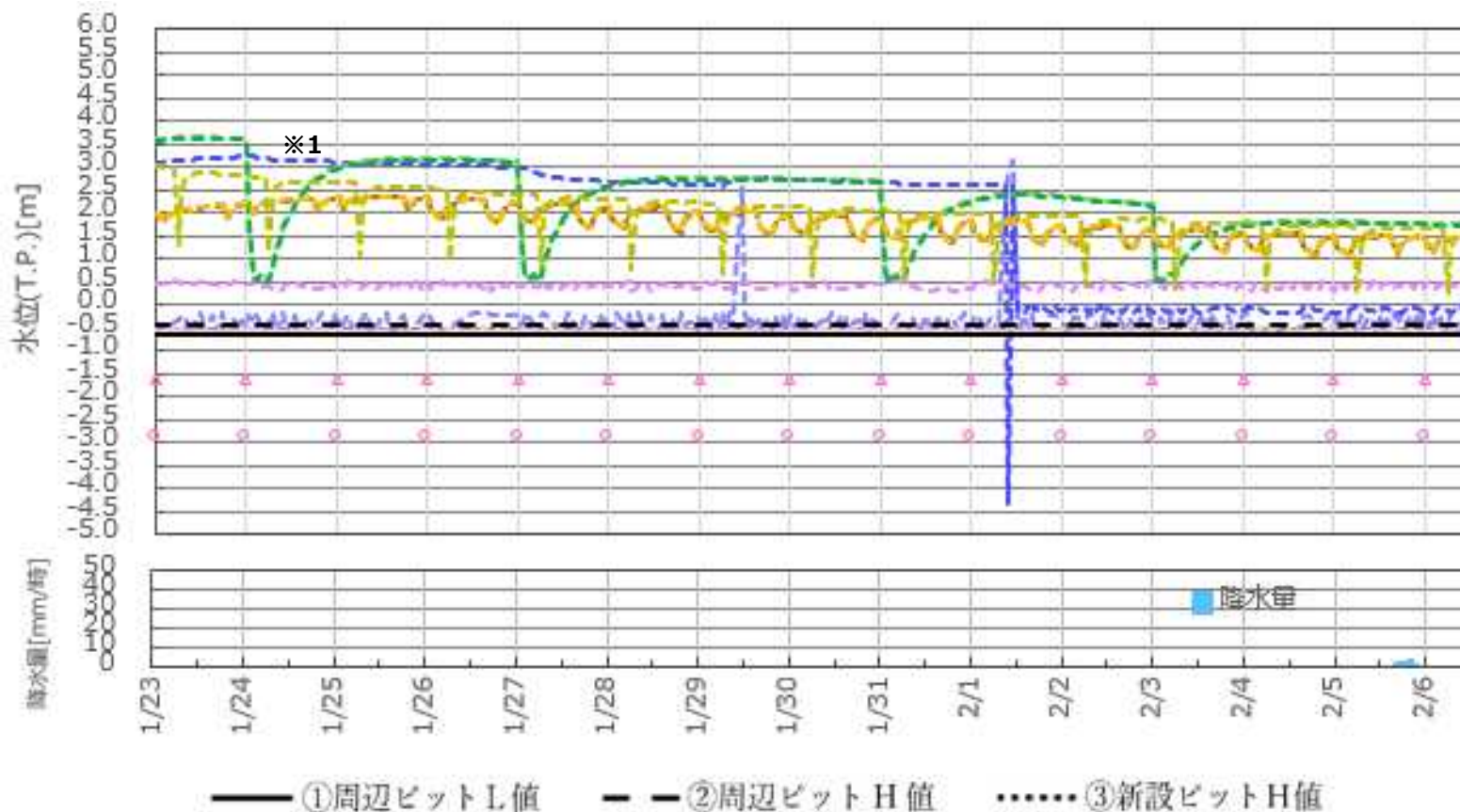
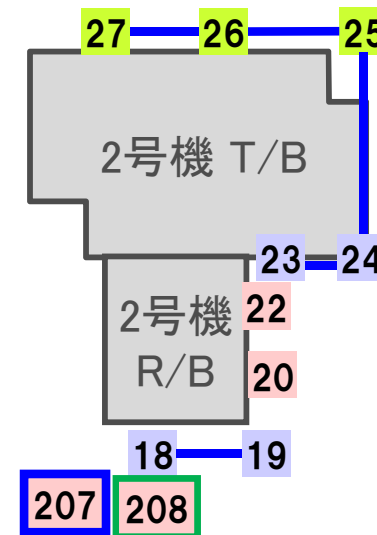
※1
No.208ピットは、ポンプ流量の低下に伴い水位が上昇 (11/27～)

※2
No.18,20,22,207,208,はNo.3中継タンクおよび移送配管清掃のため運転停止(1/10～1/16)

※3
降雨の影響による水位上昇 (No.18,19,24,25,26,27,208)

至近の水位変動（2号機）

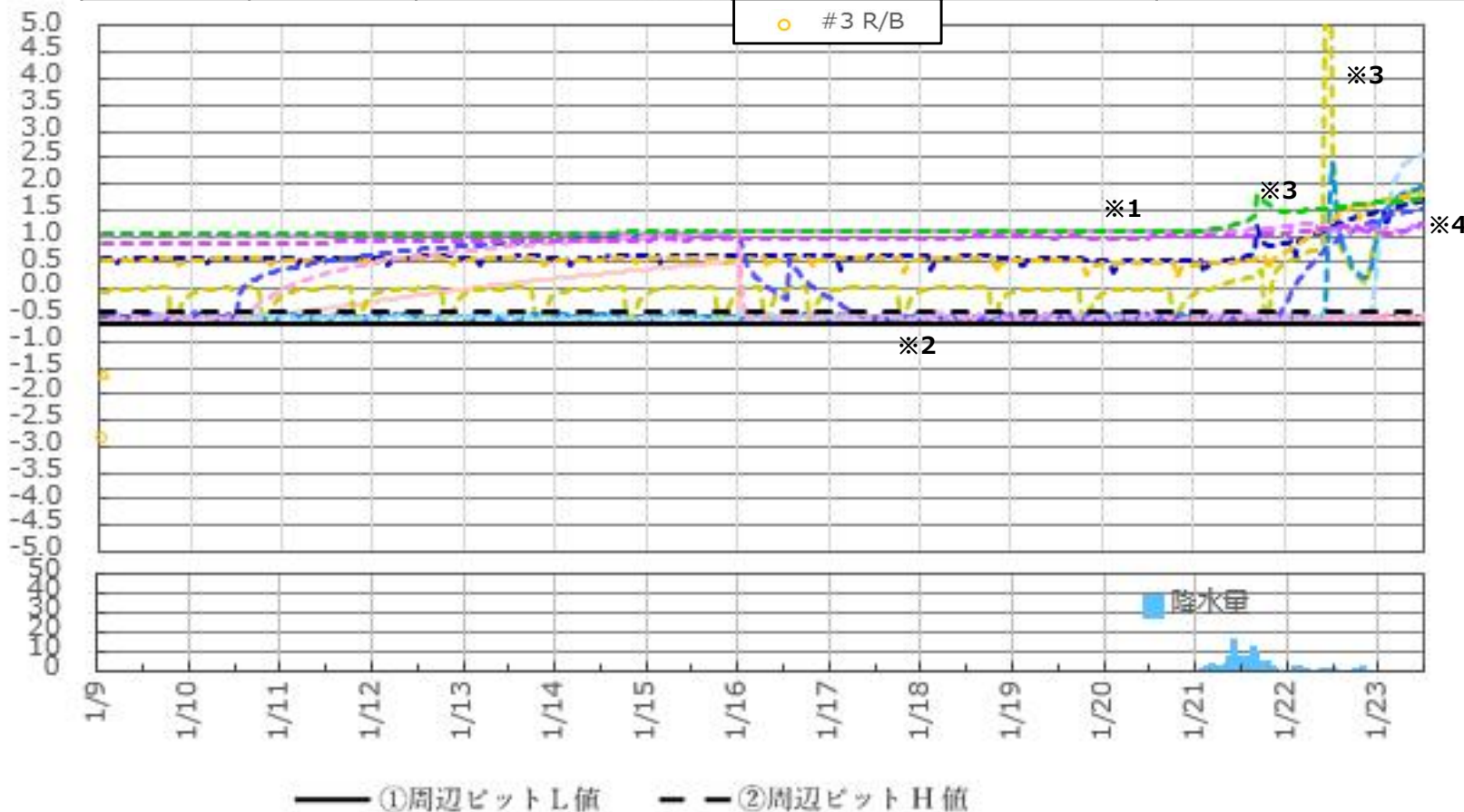
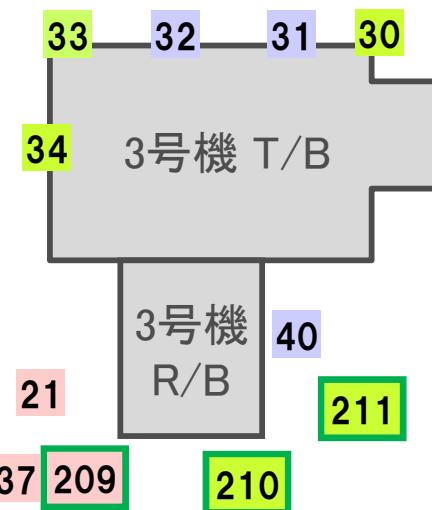
	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転	※1	----- 22	連続運転	
----- 208(N8)	連続運転	※1	----- 23	停止	
----- 18	停止		----- 24	停止	
----- 19	停止		----- 25	短時間運転	
----- 20	連続運転		----- 26	短時間運転	
			----- 27	短時間運転	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		



※1
No.208ピットは、ポンプ流量の低下に伴い水位が上昇（11/27～）
このため、1/29～2/1にポンプ交換を実施
関連停止：207（1/29,2/1）

至近の水位変動 (3号機)

	運転状況	備考		運転状況	備考	
---	30	短時間運転	※3	---	40	停止
---	31	停止	※3	---	209(N9)	連続運転
---	32	運転停止	※3	---	210(N10)	短時間運転
---	33	短時間運転		---	211(N11)	短時間運転
---	34	短時間運転		---	21	連続運転
---	37	連続運転	※2			



※1
No.211は1/3のサンプリング時に油分が8.6mg/L検出されたため、周辺ピットであるNo.210と合わせて、1/4に運転停止。その後、油分が殆どないことから、1/22に運転再開。

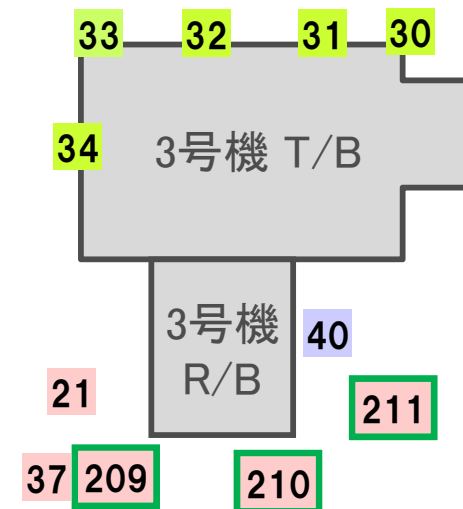
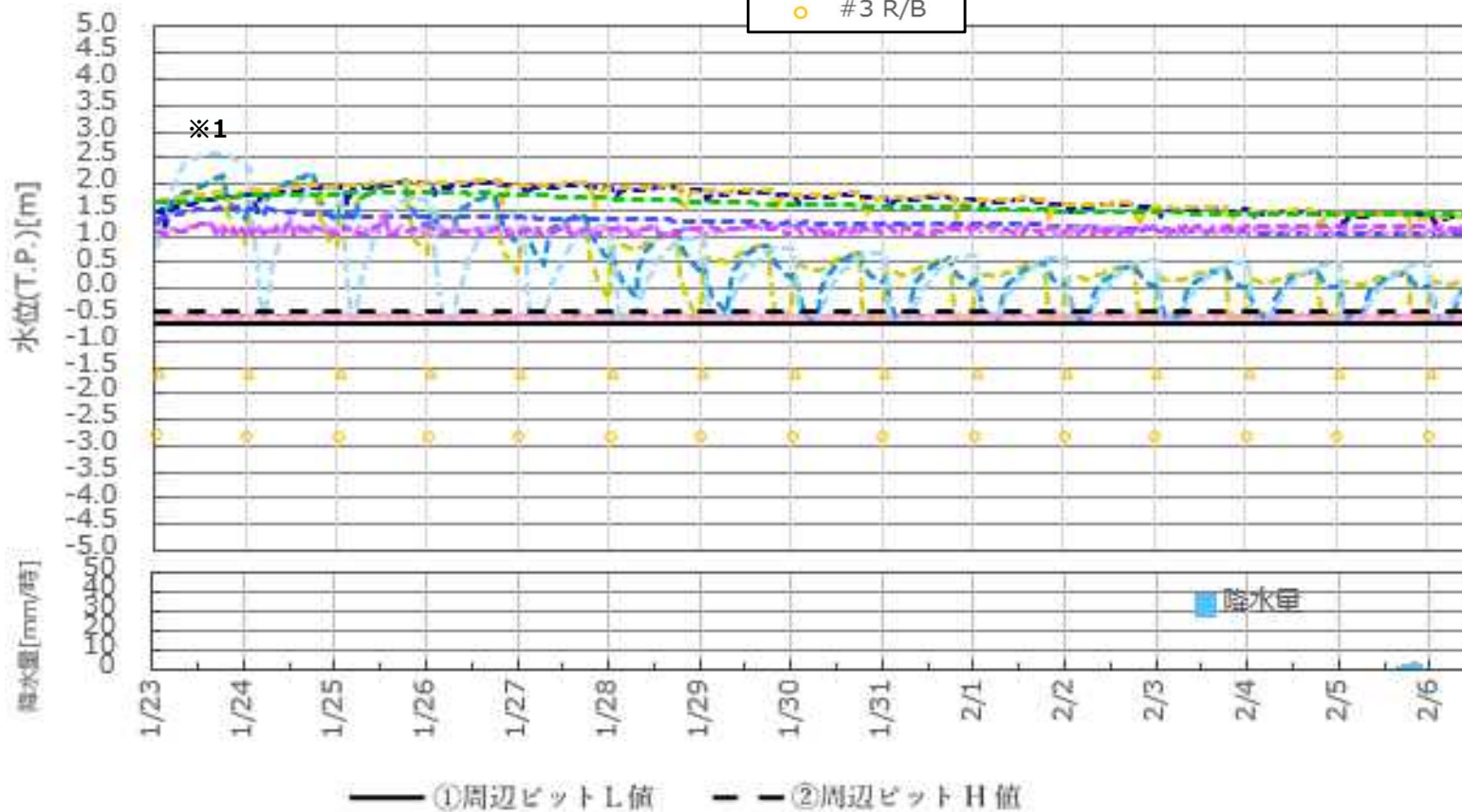
※2
No.21,37,No.209はNo.3中継タンク、移送配管清掃のため運転停止(1/10~1/16)

※3
降雨の影響による水位上昇

※4
No.4中継系統の各ピットは、設備改造工事に伴い運転停止(1/23)

至近の水位変動 (3号機)

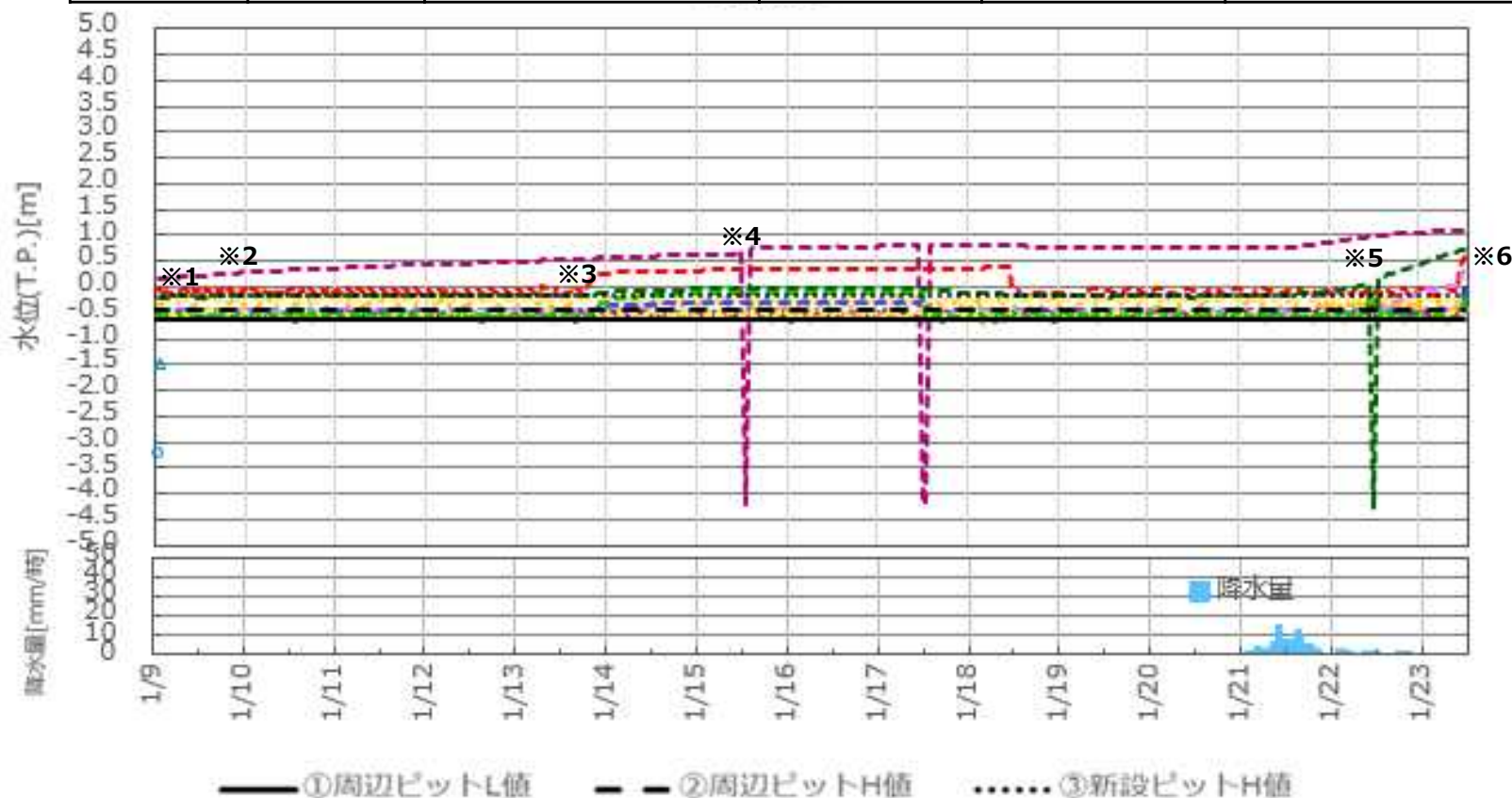
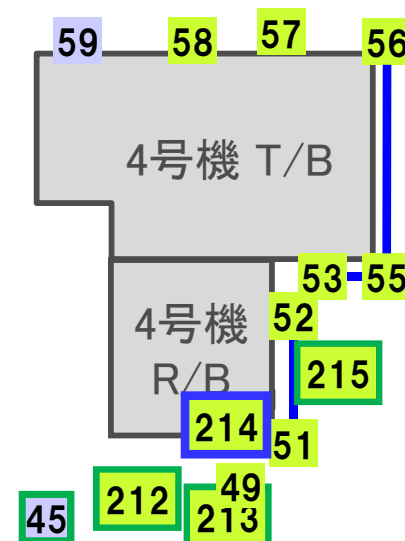
	運転状況	備考		運転状況	備考
--- 30	短時間運転		--- 40	停止	
--- 31	短時間運転		--- 209(N9)	連続運転	
--- 32	短時間運転		--- 210(N10)	連続運転	※1
--- 33	短時間運転		--- 211(N11)	連続運転	※1
--- 34	短時間運転		--- 21	連続運転	
--- 37	連続運転		△ #3 T/B		
			○ #3 R/B		



※1
No.4中継系統の各ピットは、設備改造工事に伴い、日中時間帯に停止(1/23~25)

至近の水位変動（4号機）

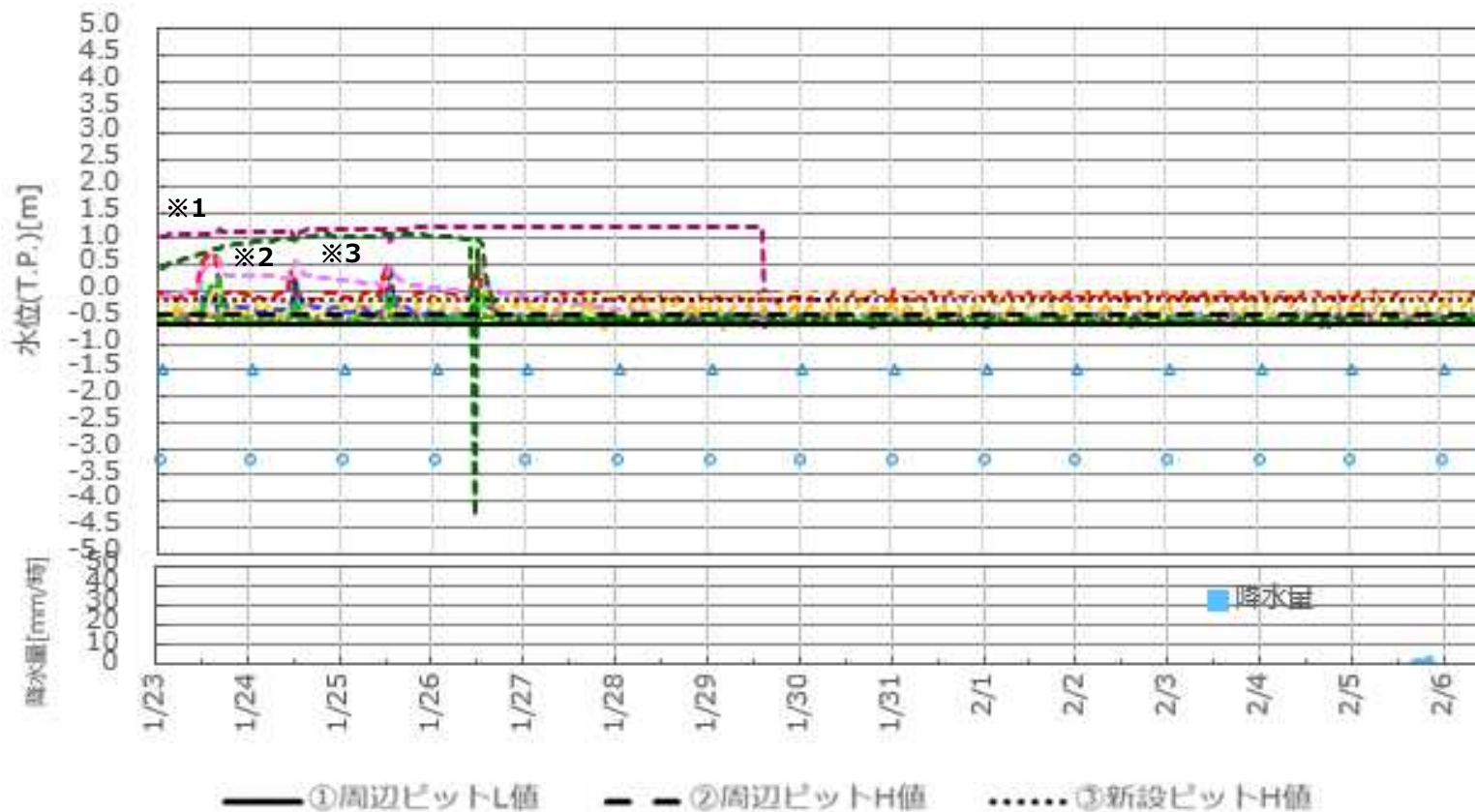
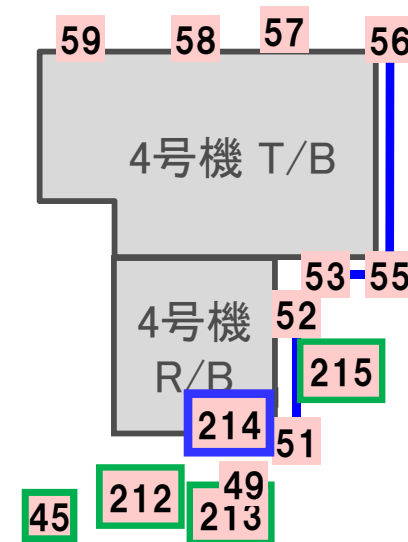
	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	停止	※2、※4	--- 57	短時間運転	※6
--- 49	短時間運転	※3、※6	--- 58	短時間運転	※3、※5、※6
--- 51	短時間運転	※6	--- 59	停止	※1、※3、※5
--- 52	短時間運転	※3、※6	--- 212(N12)	短時間運転	※6
--- 53	短時間運転	※3、※6	--- 213(N13)	短時間運転	※6
--- 55	短時間運転	※6	--- 214(N14)	短時間運転	※6
--- 56	短時間運転	※5、※6	--- 215(N15)	短時間運転	※3、※6
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



- ※1
No.59ピットは、ポンプ流量の低下に伴い水位が上昇（11/14～）
- ※2
No.45ピットは、ポンプ流量の低下に伴い水位が上昇（1/5～）
- ※3
No.49、52、53、58、59、215ピットはNo.5中継タンク転送ポンプの流量低下に伴い運転停止（1/13～1/17）
No.59,215については1/18に運転再開
- ※4
No.45ピットは、ポンプ及び配管の改造実施のため運転停止（1/15～）
- ※5
No.59ピットは、ポンプ点検清掃に伴い運転停止（1/22～）
関連停止：No.56,58（1/22）
- ※6
No.4中継系統、No.5中継系統の各ピットは、設備改造工事に伴い運転停止（1/23）

至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	連続運転	※1	--- 57	連続運転	※3
--- 49	連続運転	※3	--- 58	連続運転	※2、※3
--- 51	連続運転	※3	--- 59	連続運転	※2、※3
--- 52	連続運転	※3	--- 212(N12)	連続運転	※3
--- 53	連続運転	※3	--- 213(N13)	連続運転	※3
--- 55	連続運転	※3	--- 214(N14)	連続運転	※3
--- 56	連続運転	※2、※3	--- 215(N15)	連続運転	※3
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



※1
No.45ピットは、ポンプ及び配管の改造を実施のため運転停止（1/15～29）

※2
No.59ピットは、ポンプ点検清掃に伴い運転停止（1/22～26）
関連停止：No,56,58（1/22,26）

※3
No.4中継系統、No.5中継系統の各ピットは、設備改造工事に伴い、日中時間帯に運転停止(1/23～26)

サブドレン水質一覧(2024.2.13現在)

単位：Bq/L

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全β	トリチウム	採取日
既設ビット	1号機	1	4.3	55	1,700	120	2023.12.29
			4.9	81	1,900	460	2024.2.9
		2	6.4	5.2	12,000	120	2023.12.29
			6.6	5.9	12,000	120	2024.2.9
		8	3.9	9.0	28	7,900	2024.2.3
			3.9	9.0	12	2,400	2024.2.10
		9	5.5	15	16	990	2024.2.3
			2.8	9.0	11	1,100	2024.2.10
	2号機	18	3.7	110	130	120	2024.1.31
			6.6	100	120	120	2024.2.7
		19	9.5	300	350	240	2024.1.31
			11	340	400	350	2024.2.7
		20	5.0	4.8	14	600	2024.1.24
			5.1	4.7	11	640	2024.2.7
		21	5.0	3.9	8.3	120	2024.1.24
			4.2	4.8	11	120	2024.2.7
		22	4.9	18	53	200	2024.1.30
			4.2	18	49	170	2024.2.6
		23	4.0	160	200	760	2024.1.30
			8.8	180	250	1,100	2024.2.6
	24	6.0	240	390	2,700	2024.1.30	
		7.0	250	320	2,200	2024.2.6	
	25	15	960	1,400	5,100	2024.1.30	
		17	1,200	1,800	8,700	2024.2.6	
	26	8.0	690	1,000	4,400	2024.1.30	
		12	780	1,200	6,400	2024.2.6	
	27	32	2,200	4,400	630	2024.1.30	
		43	2,200	4,500	610	2024.2.6	
3号機	30	12	6,400	16,000	600	2024.1.26	
		5.0	2,800	5,500	2,300	2024.2.9	
	31	5.5	160	1,200	1,100	2024.1.26	
		4.6	27	830	1,900	2024.2.9	
	32	5.0	4.4	12	2,900	2024.1.26	
		4.9	6.2	11	6,100	2024.2.9	
	33	5.0	49	53	22,000	2024.1.26	
		5.1	16	19	5,800	2024.2.9	
	34	3.9	7.0	14	5,300	2024.1.26	
		4.9	6.5	11	2,000	2024.2.9	
37	5.8	3.7	8.3	120	2024.1.24		
	4.9	4.8	11	110	2024.2.7		
40	5.0	140	190	240	2022.8.26		
	110	3,700	4,200	170	2022.9.2		

- 赤字は検出限界値未満を表す
- ハッチングは最新値を示す。

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全β	トリチウム	採取日
既設ビット	4号機	45	6.0	3.7	11	120	2022.10.21
			4.5	5.1	11	120	2023.9.15
		51	5.0	4.7	11	120	2023.9.15
			3.9	3.9	9.4	130	2024.2.10
		52	3.9	4.8	11	130	2022.9.16
			4.2	4.8	12	140	2023.9.29
		53	3.9	4.8	11	130	2022.9.16
			4.2	4.8	12	140	2023.9.29
		55	6.0	5.6	12	140	2023.9.29
			4.2	4.7	9.4	130	2024.2.10
		56	5.0	3.9	11	110	2024.1.2
			5.4	5.2	13	120	2024.2.3
		57	3.0	5.2	11	120	2022.9.16
			3.9	3.4	12	140	2023.9.29
		58	3.7	3.4	31	130	2022.9.16
5.4	6.0		47	140	2023.9.29		
59	3.8	4.4	26	280	2022.9.16		
	5.0	5.2	33	180	2023.9.29		
新設ビット	1号機	201	3.4	4.2	11	4,700	2024.2.3
			3.4	4.2	9.4	4,800	2024.2.10
		202	5.5	4.8	11	1,700	2024.2.3
			4.3	3.7	9.4	1,600	2024.2.10
		203	4.2	4.8	10	1,200	2024.1.27
			3.9	3.4	9.4	840	2024.2.10
		204	4.9	5.0	10	380	2024.1.27
			4.9	4.3	9.4	350	2024.2.10
		205	4.5	3.4	9.4	4,100	2023.12.30
			4.2	4.8	10	1,800	2024.1.27
	206	5.8	4.9	9.9	2,900	2023.9.9	
		6.0	4.3	8.9	1,600	2023.9.23	
	2号機	207	4.5	6.0	33	2,200	45315.0
			4.9	5.9	180	1,400	2024.2.7
		208	4.9	5.0	8.9	180	2024.1.24
3号機	209	3.4	3.7	15	1,000	2024.2.7	
		6.0	4.8	11	150	2024.1.2	
	210	3.7	3.4	13	110	2024.2.3	
		3.3	3.0	10	120	2024.1.31	
	211	4.9	4.8	11	110	2024.2.7	
4号機	212	4.5	4.0	11	180	2024.2.7	
		4.6	3.4	15	120	2024.2.9	
	213	4.0	4.9	12	120	2022.9.2	
		3.4	3.9	11	120	2023.9.15	
	214	5.0	3.4	12	120	2022.9.2	
5.0		4.4	11	120	2023.9.15		
215	4.5	31	44	170	2024.1.2		
	5.5	39	36	140	2024.2.3		
既設ビット	4号機	49	5.1	3.9	12	140	2023.9.29
			4.3	3.7	9.4	130	2024.2.10
		5.4	4.8	10	120	2024.1.31	
			5.4	4.4	11	110	2024.2.7

単位：m³

	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1～4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
1/9	17	41	39	66	0	163	74
1/10	15	41	25	63	0	144	74
1/11	16	40	0	60	0	116	72
1/12	17	39	0	61	0	117	72
1/13	16	40	0	52	0	108	59
1/14	16	40	0	43	0	99	72
1/15	17	40	0	39	0	96	72
1/16	16	38	35	35	0	124	70
1/17	18	40	63	47	0	168	67
1/18	19	45	48	61	0	173	65
1/19	19	44	43	54	0	160	64
1/20	18	44	42	56	0	160	70
1/21	22	44	48	67	0	181	77
1/22	55	51	75	147	0	328	107
平均						153	73

(くみ上げ量は当日0時から24h)

※ 11/24以降、No.5中継についてはNo.4中継への転送ラインを使用し汲み上げを継続中

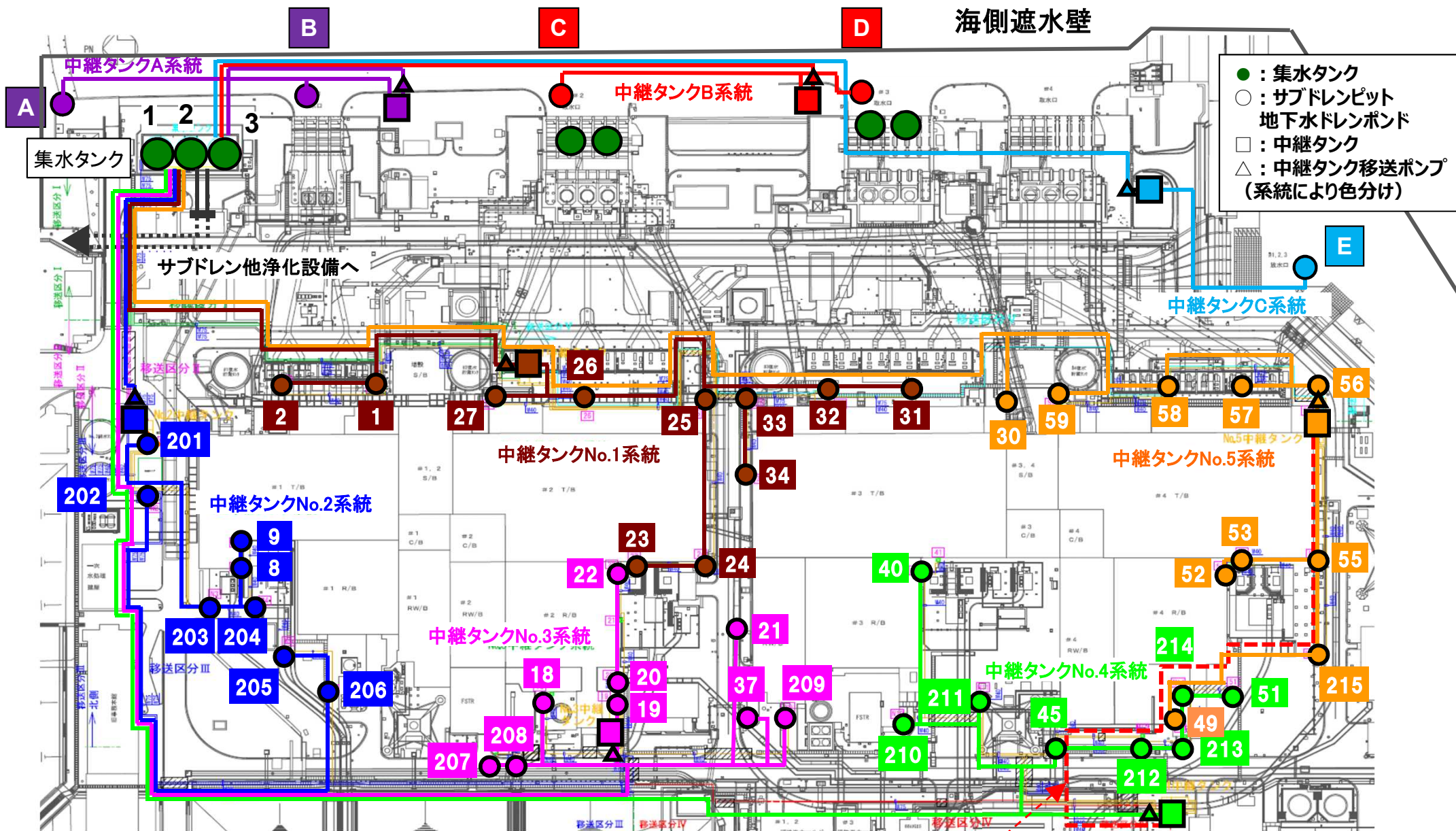
単位：m³

	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1~4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
1/23	6	52	79	138	0	275	116
1/24	19	53	85	169	0	326	98
1/25	18	56	72	167	0	313	85
1/26	36	62	67	195	0	360	94
1/27	35	63	71	202	0	371	86
1/28	33	62	60	182	0	337	82
1/29	35	63	55	189	0	342	93
1/30	33	63	54	189	0	339	78
1/31	31	65	58	175	0	329	85
2/1	31	65	67	160	0	323	80
2/2	31	71	72	150	0	324	86
2/3	30	69	71	137	0	307	80
2/4	30	69	62	130	0	291	73
2/5	26	64	57	126	0	273	72
平均						322	86

(くみ上げ量は当日0時から24h)

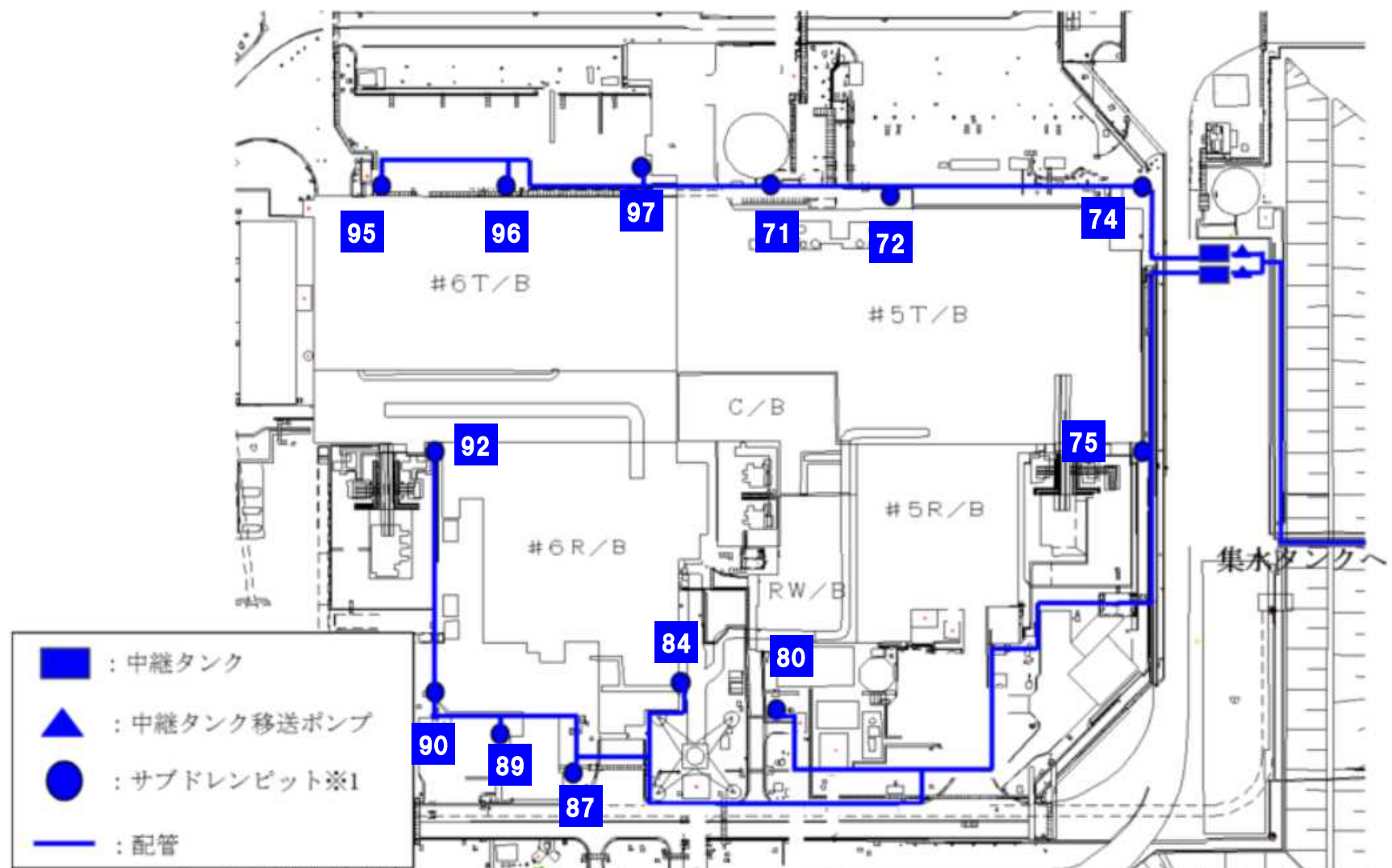
※ 11/24以降、No.5中継についてはNo.4中継への転送ラインを使用し汲み上げを継続中

【参考1】サブドレン・地下水ドレン 中継タンク系統図



○No.5中継系統水の除鉄装置への影響緩和のため、タイライン（2016年9月15日面談p1にて説明実施設備）の整備を実施済。

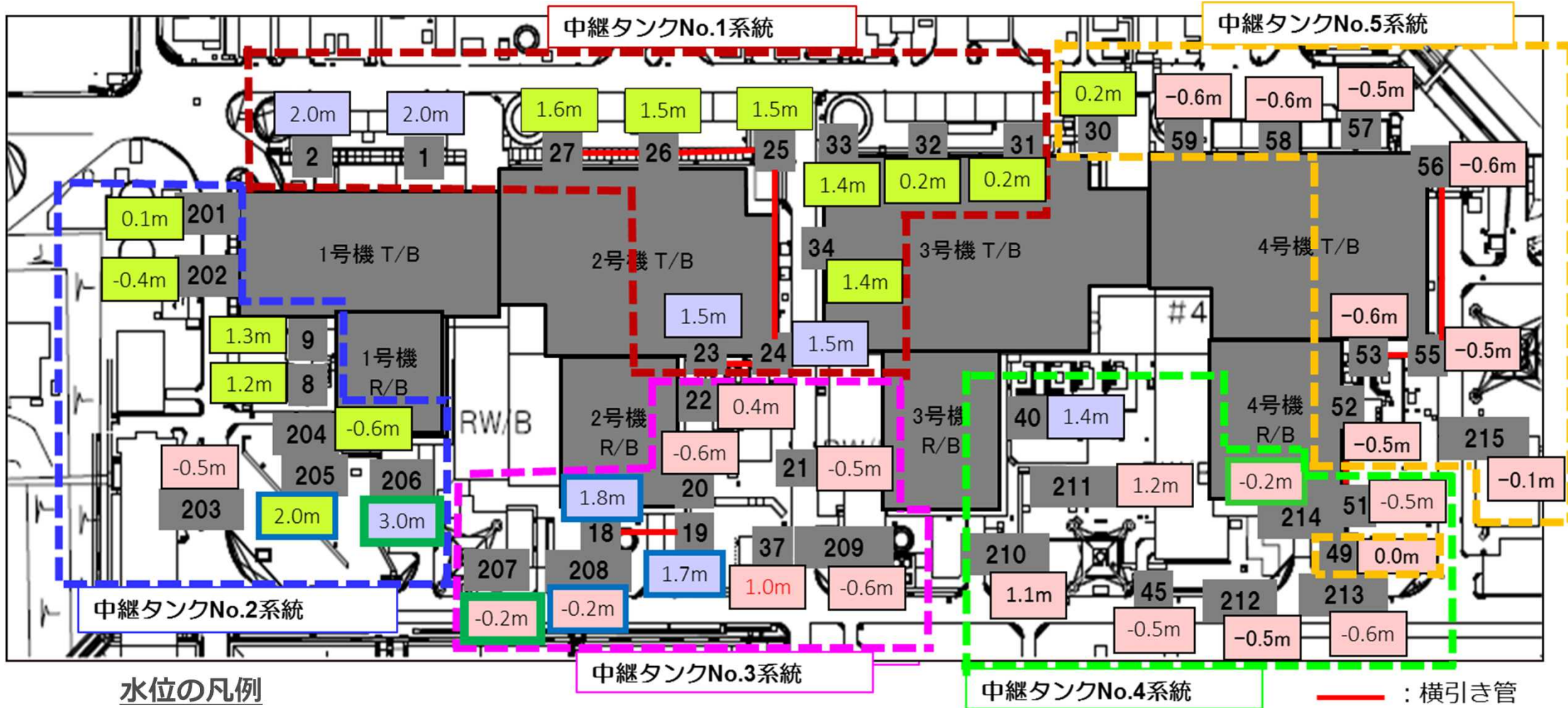
※1 揚水ポンプおよび水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。（揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計46台、水位計：各ピットに2台ずつ、計92台）



※1揚水ポンプと水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計13台、水位計：各ピットに1台ずつ、計13台)

図-9 サブドレン集水設備系統図(5・6号機)

【参考】サブドレン水位の状況について (2024.2.6 12時時点)



水位の凡例

- : 連続稼働中 (大口径ピットの設定水位-0.65~-0.45m)
(24基/46基) [うち、設定水位より高めのピットは朱書き (1基)]
- : 短時間運転 (14基/46基)
- : 停止中 (8基/46基)
- : 未拡張用水位設定中。緑囲み(3基/46基)
- : 汲み上げ抑制・トリチウム濃度調査のため、高めの水位設定。青囲み(4基/46基)